

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage up

月刊ステージ・アップ

'92

夏季

号【7・8月合併】

無料

好評連載 ● 高橋清市長の随想



西浦橋

いまを話す

優れた映画の自主上映に燃える寺井・織田さん
自費200万円出し、感動の場づくり



かわしんマスコット
タットちゃん

暮らしの中で、ビジネスで
いつもお役に立ちたい。
かわしんは皆様の毎日に
大きな信頼でお応えします。

大好きです私たちの街
川崎信用金庫

水道水が一番飲み慣れた水 だから 安全に健康的に...



健康を考えるなら
ミネバランス
整水器は常識です

酸性になりがちな体をアルカリイオン水は弱アルカリ性にして健康体にします。弱酸性のアストリンゼン水は美容に優れた働きがあります。

「ミネバランス」はアルカリイオン水とアストリンゼン水を同時につくる健康と美容になくしてはならない生成器です。

料理やお茶、コーヒー、紅茶、炊飯など用途は多様

全自動アルカリイオン電子整水器

ミネバランス

水を科学するヘルシーマシン

標準小売価格 148,000円
(消費税・取付け工事費別)

AKAI 赤井電機株式会社

パンフレットを無料でお送りします
フリーダイヤル ◆月~土曜9-20時

0120-096-608

代理店
株ヒューマンテックコーポレーション
〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306
TEL・FAX 044-954-4151



町づくりへ意気込み 好感もてた市長随想

麻生区金程2、伊藤須美恵さん
麻生区に住んで5年。越してきた当初は川崎都民の感覚でしたが、市民館の企画に参加するうちに川崎市民

本誌は民間公施設 設のご協力により 120カ所で配布

■小売店
さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店

■金融機関
川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所

を自覚しはじめました。「Stage Up」5月号の高橋市長の随想は、新しい町づくりへの意気込みが感じられ好感が持てました。「人にやさしい町 川崎」の発展を見守っていきたくと思います。

中学、高校で介護実習 取り入れ福祉社会構築

麻生区白山、芳澤由昌さん(72)
「Stage Up」を読み、文

平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ラウンド駅前支店・百合丘支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店)▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合ヶ丘支店
▽さくら銀行溝口支店・柿生支店
■鉄道
JR川崎駅▽JR登戸駅

化人や地域の方々が真剣に生涯学習に取り組んでいることを知り感銘しました。ところで今後、高齢化社会が進み、病弱なお年寄りのために、介護人が数多く必要となります。そこで中学、高校の社会科の授業の中に介護学を入れ、養護老人ホームなどで実習させたいかがでしょう。その体験により、お年寄りへの思いやり、尊敬の心、親切心が身につく。介護人の人材確保や福祉社会構築の一助となると思います。

■医療機関

市立井田病院▽市立川崎病院▽聖マリアンナ医科大学病院▽つつみ歯科新百合ヶ丘

■電力会社

東京電力川崎支社・高津営業所・生田営業所

■書店

文学堂本店(京急川崎駅横)

■公施設

教育文化会館▽情報コーナー▽幸市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館
▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津図書館▽中原図書館▽宮前図書館▽多摩図書館▽麻生図書館
▽市民ミュージアム▽日本家園▽青少年科学館▽市立体育館▽石川記

「質」感じる事業団のシンポ
東京都世田谷区成城2、富永孝子さん 過日、「Stage Up」を拝読し、御事業団が尊厳死のシンポジウムを催されたことに「質」を感じました。尊厳死は患者、家族、看護人、医師それぞれの立場から問題点を煮詰める段階です。御誌を読み尊厳死について何かを得られた幸いです。ますますのご活躍、ご発展を祈ります。

念武道館▽幸スポーツセンター▽麻生スポーツセンター▽青少年の家▽青少年創作センター▽青少年センター
▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所
▽福祉パルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネツティー堤根▽ヨネツティー王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川第二中高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」
(この他、老人いこいの家に若干部数置いてあります。)

随想 高橋清 川崎市長 思いつゝまま ④



いつの時代でも、子どもは大人たちの予想を超えて、創造性豊かな能力を発揮していくものです。子どもが本来もっている、この内に秘めた能力や可能性は、その子が社会的ハンディをもつて生まれ育ったとしても、そのことが障害となつて、自ら成長していかうとする力が弱まるものではありません。それは人間であれば、だれにでも備わった生命力といつてもよいかもしれません。

私は、去る五月五日の「子どもの日」に、保護者がいなかったり、家庭で養育できない乳幼児や児童福祉施設三カ所を訪れました。そこで、子ども達の屈託のない笑顔と絵や工作に興じている姿に接し、改めてその思いを深くしました。子どもの成長にとって、両親の温かいまなざしに守られながら、

育つことが、なにもものにも代えがたい大切なことです。しかし、世の中には、そうした当たり前の権利も享受できない、この子ども達がいるのも事実です。この子ども達に同情することは、人間のごく普通の感情でしょう。けれど、この同情が「わが子が

そんな境遇になくてよかつた」と、安堵の気持ちと裏腹であることも否定できないでしょう。「うちの坊っちゃん、隣のガキ」という譬えがあります。私たちは、他人の苦しみや痛みを一定の理解や同情を示しますが、それが「幸せな私」の立場から「不幸せな子ども達」を見下ろす感情に止まっていることが多いような気がしてなりません。それは、施設にいる子ども達に

「ともに生きる」言葉の重み

私は、健常者とハンディをもつ人達が共同・協力して生活を送れる社会——ノーマライゼーションの思想が、社会の隅々まで浸透することを願っています。それは、福祉のまちづくりにとつても大きな課題です。

いま、川崎市では関係者のみなさんの理解に支えられ、学校や保育園で、障害児と健常児との交流がなされています。はじめは同情から障害児を受け入れたとしても、やがて会話が交わされ、一緒に遊び、友達・仲間としての素地が培われていきます。最近、福祉施設についても「建物を町中につくり、障害者や体の弱いお年寄り、住民が気軽に交

流できる場を」との考えが主流になりつつあります。

「子どもの日」に、私は幾十もの小さな瞳に見送られました。その一つひとつの瞳の奥に、未来を信じ、夢と希望がいつぱい膨らん



でいるように感じました。そして、「ともに生きる」という言葉の重みを何度もかみしめ、改めて考えさせられた一日でした。(六月五日記す)

学習・文化情報

参加したいスポーツがある

〔星空教室◆八ヶ岳少年自然の家〕
8月18～20日。8月7日にオリエンテーション。八ヶ岳少年自然の家に泊まり、星空観察やハイキングを楽しむ。対象は星や植物に関心がある小学4年～中学3年。定員40人。定員を超えた場合は抽選。参加費8千円。申込みは往復ハガキに住所、氏名、性別、学校、学年、電話番号を記し、7月18日(当日消印有効)までに〒214川崎市多摩区榎形7-1-2の青少年科学館(主催)。同館は☎92214731。

〔土曜観察会◆歴史時代の火山灰観察◆青少年科学館〕9月12日(土)13～16時。小雨決行。江戸時代の富士山噴火や、奈良・平安時代の噴火を地層観察しながら学ぶ。対象は小学4年～成人。定員30人。申込みは8月18日から☎92214731の同館。

〔市民天体観望会◆夏休みに星を見よう◆青少年科学館〕7月11日20時～21時半(主な対象は月、木星)▽25日19時半～21時(星雲、星団、二重星)▽8月1日19時半～21時、22、29日19時～20時半(土星、星雲、星団)▽9月5日19時～20時半(月、土星)。申込み不要。小学星は保護者同伴。雨、曇りの時は中止。

8月30日19～21時。7月5日から受け▽9月13日18時半～20時半。8月30日から受け。対象は小学5年～成人。定員各14人。小学生は保護者同伴。雨、曇りの時は中止。申込みは☎92214731の同館。

〔プラネタリウム◆青少年科学館〕
投影話題は7月が「天の川を探る」、8月は「星占いの星座たち」。投影開始時間は火が15時、土曜日が13時半、15時▽日曜祝祭日が10時半、12時、13時半、15時▽夏休みの火は10時半、13時半、15時。入園料は大人100円、こども50円。

〔中原市民館〕7月3～8日：たばな日本画研究会作品展▽同10、15日：柳の会・中原支部展(中原東霞書道研究会)▽同17～22日：中原みずえ研究会作品展展示会▽同24～29日：ハンド・メイド展(親子のふれあい)▽同31～8月5日：墨絵展(小杉墨志会)

〔かわさきIBMM市民文化ギャラリー〕7月9～28日：さまざまな眼49 北澤一伯・串田治展(立体)。川崎区日進町IBMMビル2F。水曜休館。

ギャラリー

作品募集

〔わが町かわさき映像創作展◆川崎市総合教育センター〕作品は▽VHS(S-VHS)、β、8mmの各ビデオテーマは①課題の部(川崎に関するもの・20分以内)②教材の部(学校教育の教科・領域に関するもの・10分以内)③自由の部(20分以内)▽各部とも2年以内に制作し、他コンクールに入賞していない作品▽制作に当たって技法・機器は問わない▽応募作品数に制限はないが、1作品に1本のテープ▽使用した音楽について、著作権侵害の恐れがある時は☎031350216551の日本音楽著作権協会に聞く▽対象はアマチュアで、教材の部と自由の部は市内在住の者に限る▽応募期間は7月1～9月30日▽作品と必要事項を記入した応募票、教育文化会館、各市民館、図書館、同センターなどで配布)を〒213川崎市高津区溝口101612の同センター・学習情報室(☎84413640)へ書留郵便か持参▽審査のうえ、来年1月に優秀賞に10万円、奨励賞に2万円を贈る。入賞作品の貸出、複製などの権利は市教委に帰属。

〔地球の詩◆県環境部〕地球サミ

スポーツ

〔暑中げいこ◆石川記念武道館〕7月24～26日。暑さの中、3日間集中的に武道のけいこをして、心身の鍛錬に励む。▽柔道、剣道は10～12時、少林寺拳法は25、26日のみで10～12時▽合気道、空手道、なぎなたは13～15時。定員は剣道が百人、その他50人。参加無料。申込みは7月12日10時から直接来館。☎54410493。

感動薄いビデオ鑑賞

寺井さん 私たちが青春時代に情熱を傾けたのが労音の仕事でした。つまり、このサークルでポスターやチケットをつくり、それを配布したり販売するのは「昔とった杵柄」なわけです。

青春時代の情熱を生かし、サークルを作られた。しかし、資金がなければ、単なる夢に終わっただけなのではないかと...

寺井さん 資金は織田さんと二人で百万円ずつ出し合計二百万円です。その際「この基金がゼロになったら終わりにしましょう」と話しました。これも労音の時の自転車操業の苦い経験からです(事もなげに話す)。

ひとくちに二百万円と言いますが、庶民には大金です。よね。(驚きの表情)。

寺井さん スタートから三年間で百五十万円が消費されました。音楽会は、ギャラだけで最低八十万円かかり、会場費を入れると百万円以下では開催が不可能です。四、五百人の観客では赤字です。企業



や行政に資金的協力をお願いすることは全く考えませんでしたね。サークルが今もあるということ、資金が残っていることになりですね(冗談混じりに)。

寺井さん 映画は赤字が出ない程度にやっています。この二、三年は資金の残りの五十万円は減っています。

織田さん 私たちが願っているのは「アートサークル麻生が上映する映画だから、よい作品なのだ」と一定の信頼を得て、それを見続けるうちに、本当の映画のよさを理解してくださる方が増えていくことです。

最近、ビデオの普及で映画館の入りが減少しています。家庭で見るビデオ映画と映画館での映画の相違はなんですか。

織田さん ジョージ・ルーカス(SFX映画の巨匠)が、音響や映像効果の悪い映画館では「自分の感覚が観客に伝えられない」と上映させませんでした。条件の整った映画館は感動の響きが違います。その点、ビデオは言うにおよびません。

私たちの生活の中で映画とはどういうものなのでしょうか。

寺井さん 音楽、映画、演劇が好きで、生きていく再生産の糧(か)として、そのエネルギーを吸収しているのです。心が落ち込んだ時に映画を見たり、音楽を聴くと立ち直れます。ですから、周囲の人に押しつけがましく働きかけてしまうのです。「感動する場を提供していいこう」がサークルの原点だと思っています。

織田さんはいかがですか。
織田さん 私にとって映画や音楽は、自分の知らない世界、新しい世界を広げてくれる。

寺井 昭子さん
てらい・あきこ=1938年、神戸生まれ。50年に神戸労音で音楽プロデューサー。87年に川崎市民になり「アートサークル麻生」を結成。夫は俳優座・武内亨さん。麻生区古沢在住。

織田 成江さん
おだ・まさえ=1946年、京都市生まれ。67年、同労音でプロデューサー。84年に川崎市民。87年、同サークルを結成。放送プロデューサーの夫、中学生の娘2人と麻生区白山在住。

るところで、そこに喜びがあると思えます。この喜びを周りの人と共有したいのです。

音楽・映画について、そう感じるの、女性特有の感性なのではないでしょうか。

寺井さん これまで、女性向き映画だけを選んだつもりはありませんが、本能的に女性の視点からみていますね。

サークルの会場となる麻生市民館ホールは、定員千人ですが入場料はいくらですか。

寺井さん 映画会は千円です。一日三回上映します。会場費は安く利用できて助かりますが、映写

講座・講演



健康増進講座◆大師保健所

14〜10月12日の毎週月曜日(10月5日を除く)。初日は9時半、その他は9時から。全4回。医学的検査や体力測定で自分の健康の度合いを知り指導を受ける。講師は石川満世・体育指導員や医師、保健婦。対象は大師支所管内在住の18歳以上で、治療を受けていない方。定員15人。検査料は40歳未満の男性が3930円。その他年齢などにより異なる。申込みは☎26610128(内)21の同保健所保健予防課。

探していた講座がある

文化講演会〜日本の文化におけるスポーツ◆麻生老人福祉センター

7月15日(水)13時半〜15時半。講師は宇佐美彰朗・東海大体育学部教授。定員先着200人。対象は市内在住の方。入場無料。申込みは7月11日までに☎96618956の同センター。

暮らしの大学〜自然とふれあふ暮らし◆川崎消費生活センター

7月3〜8月3日13時半〜15時半。全10回。天候がもたらす経済的影響

クレジットカードの便利さと恐ろしさ、ポストハーベスト農薬の現状など幅広い分野を学ぶ。講師はNHKの松田輝雄・エグゼクティブアナウンサー、平沼洋司・気象庁予報官ほか。受講料無料。定員80人。2歳以上の託児有り。申込みは☎83311231(内)332の同センター。

専修大学夏季公開講座◆専修大学・生田校舎

7月21日は「漱石とロンドンの馬車」(英文学・塚本利明さん)、「万葉集の花と鳥」(国文学・橋本達雄さん)▽22日は「現代における死の受容の形式」(社会学・嶋根克己さん)、「論語今読」(国文学・小和田顯さん)▽23日は「ミステリーの魅力」(新聞学・権田萬治さん)、「芥川龍之介『舞踏会』について」(国文学・小野隆さん)。いずれも1時限が9時半〜11時、2時限が11時20分〜12時50分。受講料1日千円。定員先着300人。申込みは往復ハガキに希望受講日、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入のうえ〒214川崎市多摩区東三田2-1-11・専修大学生田校舎・文学部教務課。☎911-1254。直接大学へ申込みは、土・日を除く10〜16時。7月14日までに必着。全講座

受講者に受講証書を授与。

健康は食事から〜本気で実行しよう〜まずは味体験◆県立百合丘高校

10月1日(木)と10月3〜12月19日の土曜日10〜12時(一部時間変更あり)。全8回。成人病予防の食事の工夫やアウトドアライフのメニューに加えて「燻製」について学んだ後、スモークチキン、生ハム、ソーセージを作る。講師は同校教諭。定員先着40人で、全回出席可能な方。材料費6千5百円。生ハム材料は持参。申込みは往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、9月3〜16日(必着)に〒214川崎市多摩区南生田4-2-11・県立百合丘高校コミュニティスクール係。☎97718955。

家族の健康〜アレルギー・リウマチについて、予防と治療の最前線◆聖マリアンナ医科大学

9月3〜10月22日の毎週木曜日13時半〜15時半。テーマは「アレルギーと病氣」「気管支喘息」「内科側からみた慢性関節リウマチ」など。講師は内科・臨床検査医学助教授で、難病治療研究センターの中川武正・副長ほか。モテレーターとして免疫学・病害動物学・坂根剛主任教授、皮膚科学・

溝口昌子主任教授。対象は県内在住の勤の成人。定員300人。定員を超えた場合は抽選。受講料は無料、テキスト代3千円が必要。申込みは往復ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、8月1〜31日に、〒216川崎市宮前区菅生2-16-1・聖マリアンナ医科大学学務部教務課・公開講座係。☎97718111(内)3114。

こども能楽教室◆川崎能楽堂

1回目:7月22日(水)13時半〜15時半。オリエンテーション「能って何でしょう」▽2回目:Aコース7月31日(金)、Bコース8月28日(金)のいずれか1日。時間は後日連絡。「能を体験してみよう」▽3回目:9月13日(日)14時半開演。「能『葵上』を鑑賞しましょう」。対象は小・中学生。定員百人(グループ参加可)で、定員を超えた場合は抽選。鑑賞費、教材費を含む受講料2千円。申込みは往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号及び2回目のA、Bいずれかの希望日を記し、7月20日(当日消印有効)までに〒210川崎市川崎区砂子1-18-16川崎市文化財団事務局。☎2221821。

中勘助著 銀の匙

よみがえる幼い日の頃

川崎市麻生区向原 主婦 三角はる美さん

病弱でひ弱な「私」が、うちから外へ目を向けていく過程、親しい人との心の交流、女の子へのあこがれ、回ってくる自然や行事、母親代わりの叔母との睦み合いと別

れなど、物心つく頃から仄かな恋心を覚えるまでを小節に分け描いた作品である。「濃厚な甘みのなかに興奮性な肉桂の匂い。吸って雨蛙の腹のように膨らませたそら豆の葉。ひざを立てたなり、すぽんと入る窓と筆筒のあいだ。」。不思議なほど心澄む読後感である。

岩波文庫

秀村欣二／吉沢五郎編 地球文明への視座 経済往来社

環境思想に共感

川崎市麻生区千代ヶ丘 谷山栄一さん

昭和五十九年秋、この地に転居して間もなく、麻生文化センターでの文化講演会「近づく21世紀の世界」に出席し、この本の刊行を知った。

心をもつようになった。その頃、この本を読んで現今の世界情勢、地球のあらゆる環境に対する思想と歴史観が示され強い共感を覚えた。

現代では、ナショナリズムはむしろ地球文明・世界平和を損なう要因であり、単なるインターナショナルでなく、トランスナショナル

当時、私は文化センターの地域セミナーに参加し、新都心のアメニティダウン構想なるものが論議されていた。「快適環境の街づくりとは何か。以後、環境問題に深い関

る。わらべ歌のような文章の響きと濃やかに形容によって、長年、私のからだの奥深く沁んでいた諸々の物事が、音や香り、触覚まで伴ってみずみずしく蘇るのだ。繊細な感性と言葉と言葉が織りなす情景描写は、夏目漱石が賞賛したように他に類を見ない。だれもが体験した幼い日々を描いているだけに、新鮮な感動と興奮を覚えるのは、人生の真実を描いているからであろう。それは、多くの体験によって、大人の複雑な心理を知ることがで

ルでなければならぬ。そのためには、トインビーの強調する「自己中心主義(種族・民族中心主義等)の克服」が21世紀に向けての思想的課題である。日本人が新たな地球社会構成員として人権・環境(生態系保全等)思想を身につけ、今日の民族紛争の時代を、地球文明形成へ向けて

きたが、同時に子供の頃の純真な真実を見る目は失いつつあるということか。「あがりめ、さがりめが大謙いだった。それは私が負けるからではなくて、お恵ちゃんの整った顔が白眼を出したり鰐口になったり見るも無惨……になるのが、しんじつ情けなかつたからである」。昔遊んだ友達の面影が彷彿として思い出され、今にして顔を赤らめながら読み終えた。



グループ紹介

「麻生絵手紙研究会」の三十六人のメンバーは「相手の人に、文字だけでは伝わらない感情や事柄を、絵を入

文字で伝わらぬ感情、絵に託す

麻生絵手紙研究会

心のふれあいに大切な季節感を

れることによって、お互いの心の交流を深めたい」と絵手紙の輪を広げている。平成二年に会を作った時は「手紙を書くのも、絵を描くのも苦手」だった会員は、今では毎月平均十五枚もの絵手紙を送っている。
活動は第一火曜日、麻生市民館でお互いの作品を品評しあう。毎年十二月には、一年間に描いた絵から秀作を選び、麻生郵便局で展覧会を開く。市民に「師走の忙しい時期に心を和ませる」と好評だ。会のモットーは「味が出るように、大きく描く」。どの絵もハガキからはみだしそうな勢いだ。ハガキだけでなく、贈答用のうちわやせんす、色紙にも描く。
絵には、季節感や生活感があふれ、四季の草花から「明日の朝食の朝漬になります」との言葉を添えたダイコンや、カイワレダイコンの葉の形をもじり「ハートがいっぱい」の主婦感覚が生かされている。どれも絵と文字の配置、色彩に心配りが感じられる。
夫が単身赴任中の鈴木光江さんは、赴任先へ毎日のように絵手紙を送る。身近な話題を絵に託し、目標の三百六十五枚を一年半で達

取材・松本 成代
カメラ・田島 志織

オペラ界の世界的プリマドンナ

E・オブラスツォワが熱唱

7月3日(金)午後6時半 中原市民館 川崎音楽文化連盟創立記念コンサート

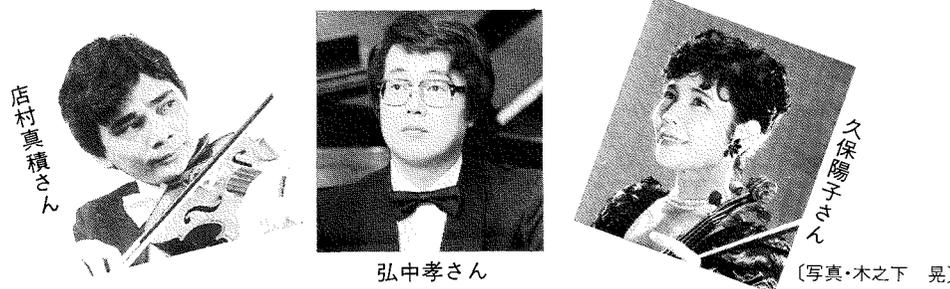


オペラ界の世界的プリマドンナ、エレナ・オブラスツォワさんが川崎で歌う。「川崎音楽文化連盟」(世話人代表=大谷冽子・昭和音楽大理事長、大里洋子・洗足学園大音楽学部教授)が、7月3日午後6時半から同市中原区の中原会館(JR南武線武蔵中原駅前)で同連盟の創立を記念して「愛のチャリティー市民コンサート」を開く。このコンサートにソプラノ歌手のE・オブラスツォワさんと川崎の若き演奏家が出演する。
曲目は「世界で愛されている名曲」の中から山田耕作の「この道」、多忠亮の「宵待草」、シューベルトの「野ばら」など9曲。「オペラ愛唱曲」からは、サンサーンスの歌劇『サムソンとデリラ』より「春は目覚めて」「愛よかよわい私に力を貸して」、プッチーニの歌劇『ジャンニススキッキ』より「私のお父さん」、ビゼーの歌劇『カルメン』より「ハバネラ」など。入場料は2千円(全自由席)で、☎952-5000の当事業団▽☎233-6250の当事業団情報コーナー▽☎754-4500の川崎市市民ミュージアム▽☎722-0185の中原会館で前売りしている。

同文化連盟は今年3月21日、川崎市在住の音楽家・演奏家・音楽愛好家らが「地域に根ざした音楽文化を育て、かわさきから世界へ平和と愛の音楽を伝えたい」と、設立した。

かわさき★室内合奏団コンサート

☆日時・会場——10月9日(金)午後7時、川崎市教育文化会館大ホールで開演
☆出演メンバー——弘中孝(ピアノ)、久保陽子(ヴァイオリン)、植木三郎(同)、内田輝(同)、篠崎史紀(同)、店村真積(ビオラ)、星秀樹(コントラバス)、堀了介(チェロ)、山岸博(ホルン)ほか



☆曲 目——ブラームスの「ホルン三重奏曲変ロ長調」、ヴィヴァルディ「四季」(出演者、曲目が変更した時はご了承ください)
☆入 場 料——2000円(全自由席) ☆前売り開始——8月27日(木)
☆発売・予約先——☎952-5000の当事業団、☎233-6250の情報コーナー、☎222-3090の川崎音協、☎244-1251の京急川崎駅前文学堂書店、☎245-3168の西武川崎店チケットセゾン、☎511-5491の鹿島田駅前北野書店、各市民館
(財)川崎市生涯学習振興事業団主催・川崎市教委共催

■手づくりのチラシ配りPR■ 興行不振の秀作上映し 制作者たちを励まそう

機が一六〇のため、光源が遠過ぎて色画は効果が薄らぎ残念です。ぜひ三五、用映写機を入れて欲しいですね。

—PRはどうされていますか。
寺井さん フィルム代は十八万円前後で借りられますが、チラシ、チケットは再生紙を利用して手作りです。大変なのはチラシの配布ですね。

—チラシはお二人で配っているのですか。
寺井さん はい。一時間に五百



戸が限度です。私は週三日の勤めがあり、家では白い目で見られています。でも映画会にきた人が「近くで名作が見られてよかった」と喜んでくれると、やりがいを感じます。

—日本映画を向上していくため今後、制作側への要望は……。

寺井さん 最近の日本映画は、「息子」「八月のラプソディ」「戦争と青春」「外科室」など、いいものが続いています。よい作品を上映する機会を多くつくること、よい映画が制作されることにつながると

考えています。

織田さん 地域への呼び掛けは口コミが一番です。グループの輪を日常的に広げる努力と小さな機関紙を発行したいですね。

—自主上映した作品の中からベスト3を挙げてください。

寺井さん 「ドイツの青ざめた母」(西独)、「紅いコリヤン」(中国)、「エメリーの未来」(西独)の三本です。平均三百五十人の市民が見てくれました。

—麻生区内に、映画関係者がかなり在住しています。講演の後、その監督の映画を上映するなど今後の抱負をお聞かせください。

織田さん あまり採算を考えないで、できることなら何でもやりたいですね(うなずきながら)。



寺井さん 企画はいくらでも立てられますが、問題は資金と参加者です。区民の中にさらに「麻生

で文化を育てる」という気持ちが強まれば、多様にイベントができるので将来は明るいと思います。—今後のご活躍をお祈りします。ありがとうございます。

(題字は高橋清・川崎市長。構成・文責 田中園)

『ほんねインタビュー』いまを話さない。また、こんな人をゲストに登場させて、や女性インタビューの二推薦をお願いします。

熊野 史子さん

くまの・ふみこ=大学卒業後、新演劇人グループ・マールイに入団。1977年、川崎市民になり「身近な所で演劇を」と企画制作グループ「ふえすたIN麻生」を結成、これまでに10回のイベントをする。夫と長女、長男、二男の5人家族で麻生区片平に在住。

学習・文化情報

◎加したい催しがある

【茶道入門(抹茶)、自運術(健康体操)入門、夏休み子ども卓球広場◆県立高津青少年会館】茶道(抹茶)は7月3、10、17日の18時半〜20時半。立ち方からお点前まで。定員10人▽自運術は7月22〜8月12日の毎週水曜日19〜21時。全4回。定員15人▽卓球広場は7月21〜23日の毎日、9時半〜12時。初心者のための手ほどき。対象は小学4〜6年生。定員30人。ラケット持参。スポーツ傷害保険料360円。いずれも☎84412101の同館へ申し込む。

【夏休み創作教室◆青少年創作センター】陶芸教室は、午前コースが7月21、22、28、30、8月2日、午後コースが8月21、22、25、26、30日▽軽食とおやつづくりは、午前コースで7月23〜25日と8月26〜28日▽工作教室は午後コースで7月21、22、28、29、30日▽版画教室は午前コースで8月23、26、28、29、30日。いずれも午前コースは9時半〜12時、午後コースは13時半〜16時。対象は市内在住の小・中学生。定員各30人。定員を超えた場合は抽選。教材費は実費負担。申込みは7月12日10時までに本人が直接来館。☎91111510。

【自由創作教室】陶芸、工作、絵画、料理◆青少年創作センター】8月4〜14日(10日を除く)9時半〜12時と、13〜16時。陶芸教室は教材費実費負担。その他は材料持参で自主制作。定員各30人。当日直接来館。☎91111510の同センター。

【夏休み親子映画鑑賞会◆工ボツクなかはら】7月31日(金)13時〜16時35分。「ゲゲゲの鬼太郎」、「名犬ラッシー」、「キャンディキャンディ」▽同日18時〜21時35分。「ロッキー」。定員各9百人。鑑賞料500円

催し

学習・文化情報

参加したいグループがある

会員募集



●新百合中国語会話《麻生区細山2-12-9、尾田常澄代表》発音の基礎からスタートします。中国の歴史、地理、生活文化などを正しく理解できます。初心者第2期生15人を募集中。定員になり次第、学習の開始予定。講師は上海外国語学院卒、李燕氏。月3回火曜の18時半〜20時半、新百合ヶ丘駅そばの川崎市生涯学習振興事業団研修室で。会費は月額約2500円。連絡は☎954-2245、土日を除き19〜21時に同代表宅。

●中原鶴心書道研究会《宮前区東有馬3-13-35、平林絹江代表》楷書から行・草・隸書まで指導し、条幅作品まで筆を進めたい方の教室。月3回水曜9時半〜12時、中原市民館で。連絡先☎888-15576、水曜以外何時でも同代表宅。

●朗吟研究会《高津区溝ノ口598、浜田かね子代表》詩は心の息吹であり、感情の泉です。吟詠をするストレスを解消し、心身ともに健康にし長寿になるといわれます。ご参加をお待ちしています。月3回水曜13〜16時半、高津市民館で。連絡先☎822-18241、18時以降

に同代表宅。

●料理研究会(秋)《高津区子母口54-21、大橋美佐子代表》昭和48年から続いている料理好きの女性だけの会です。手作りの料理で家族の健康と輪を一緒に広げませんか。月1回水曜9〜12時、中原市民館で。連絡先☎777-10883同代表宅。

●西生田スポーツクラブ《麻生区王禪寺158-1-11、小山綾子代表》ジャズ体操で心も体もハツラツ、シェイプアップしましょう。月4回水曜13時半〜15時、細山郷土資料館で。連絡先☎986-11078、月〜金曜18〜21時同代表宅。

●中原みずえ研究会《中原区井田中の町405、岩崎敏雄代表》年齢にかかわらず、一生絵を描いて楽しみましょう。第1木曜午前中が講師指導、午後が自習、第2木曜午前・午後とも自習、第3木曜は講師講習。連絡先☎766-11587、18〜22時同代表宅。

●書道・祥の会《中原区市の坪106、沢田ミツ代表》筆に墨、半紙に書く墨の色であなたの個性を伸ばしましょう。第2・3・4木曜10〜12時、川崎総合自治会館2Fで。連絡先☎411-11646の沢田宅か766-18814の榎本宅。

●原田民謡研究会《高津区二子579、只木静子代表》唄や三味線を

ASAHI《宮前区宮崎77-3、荻野昭二代表》各区のグループで点検・調査していますが、障害者の参加をふくめ、ご協力頂ける方はぜひ事務局にご連絡下さい。土・日・祭日に月一回、点検活動を川崎ボランティアセンター・エポックなかはら5Fで。連絡先☎855-11432の同代表宅か711-5533の同センターへ。

優れた映画の自主上映に燃える 寺井昭子さん 織田成江さん いまを話す インタビュアー 熊野史子さん(主婦) vol.7



「アート・サークル麻生」は、優れた映画を麻生市民館で自主上映していますが、なぜ、映画を選んだのですか。 寺井さん 実はスタートした時は「いい音楽を地元で安く聴きたい」が目的でした。しかし、音楽会は会場と出演者のスケジュールが一致しなければ開けません。かなりの観客が来ないと、大赤字になり条件が難しいのです。それで、最近では映画会が多くなっています。条件を整えば、また音楽会を開きたいですね。

織田さん いま、映画館で大入りするのは、スケールが大きいものや派手なアクションものが多いようです。興行的には不成績でも、いい映画は沢山あります。地域で優れた映画を見る機会を作りたいとの考えもありました。



熊野さん

「映画って本当に素晴らしいですね」は、民放の映画解説者の「決め言葉」。「アート・サークル麻生」の代表二人は「優れた映画鑑賞は心のエネルギーであり、世界を広げてくれる」と、自費二百万円を出し自主上映を続けている。いま、良心的映画が大入りになるとは限らない中で、よい映画上映の場を数多く作り、本当に映画の良さが分かる人を増やし、社会に「感動の場」を提供することが求められている。それは映画界の活性化にも役立つはずだ。

「映画のテーマは、どういう基準で選ぶのでしょうか。 寺井さん あまり難しく考えていません(笑顔)。まず、その映画を見て何かを考えさせられる。それと、ヒューマニズムが底辺に流れている。楽しくなり、生きる勇気がわく」の三点でしょうね。 ———いい作品だが、観客の入りが悪くなかった映画を自主上映するご苦労は大変でしょうね。 寺井さん 好きな映画をみんなと一緒に見たいとの思いから出発していますから苦労なんて……。 例えば、安くて美味しいそば店を見つけたら、近所の主婦を誘い合って食べにいくという感覚なのですよ(明るい表情で)。

夏季

1992年

も〜じ

●随想・「ともに生きる」言葉の重み 高橋清・川崎市長 3

連載「いまを話す」寺井昭子さん、織田成江さん
自費20万円出し、感動の場づくり
 優れた映画は心のエネルギー

●はりきってますグループ紹介
 伝えたい感情、絵に託す 麻生絵手紙研究会 9

心にのこる私の一冊 「銀の匙」 麻生区、三角さん
 「地球文明への視座」 麻生区、谷山さん 7

◆かわさき室内合奏団コンサートの出演者決まる 8

■7月3日に世界的プリマドンナのコンサート 8

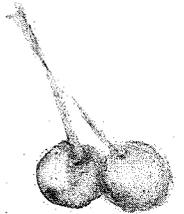
学習・文化情報・会員募集 10

「ステージ・アップ」配布場所・どくしゃの声 14

ミニニュース ◆編集後記 15

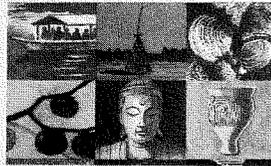
◎随想カッタ ドクダミ—— 田村あや

◎表紙絵 高津区溝口、二ヶ領用水・田筒分水下流の西浦橋—— 田島志織



わがまち 麻生の歴史 三十三話

高橋嘉彦



気軽に読める「わがまち 麻生の歴史 三十三話」川崎市選管委員の高橋嘉彦さん(55)が「わがまち 麻生の歴史 三十三話」を自費出版した。

川崎の歴史ものは、これまで数多く出ているが、この本は「歴史は苦手で、本のタイトルを見るのも嫌だ」と言う人にも勧められる本だ。

「数千万年前、麻生区の丘陵地帯は海であった」「遠い北の海にしかないトドやアシカが生田緑地に生息していた」「百二十万年前、新百合ヶ丘駅周辺にはカントウ象が東南アジアから長い旅をして、はるばる移住してきた」などなど。このように興味を抱かせるやさしい文章で書かれている。

B6判三一七ページで、全八章の▽太

MINICOLORS

古のロマン秘めた多摩の横山▽川崎の大地のあゆみ▽川崎人類史のあけぼの▽古墳、奈良・平安時代▽中世を歩く▽江戸時代―近世を生きたる▽明治維新から太平洋戦争へ▽農村から川崎新都心へ―で構成されている。

「第27話 明治維新とその前後」では、「政府は『富国強兵』をスローガンに明治六年、徴兵令を発令しました。男子は二十歳になると徴兵検査を受け、三年間の兵役義務を負うことになったのです。徴兵令に反対する大規模な一揆がたびたび起こり、近隣の士族と鎮台兵によって鎮圧され……。民衆は唄にたくして政府をからかい、うつぶんを晴らしました。徴兵 徴役 一字ちがい 腰にサーベル 鉄鎖。民衆の視点から歴史を見ている。

同書が気軽にやさしく読めるのは、

高橋さんが、元高校教諭という教える立場にあったことと、歴史が専門外だったことが幸いしているようだ。専門家が書いたパソコンやワープロの解説書が難解で、パソコンと格闘して、なんとかモノにした素人が書いた解説書の方が分かりやすいのと同じ。

よく「歴史を学ぶのではなく、歴史から何を学ぶかが大切」と言われるが、同書は生涯学習の時代の歴史書として時宜を得たものといえそう

同書は実費千五百円で、購入は同区東百合丘の一七の八、☎044-955-8124の高橋さん宅。

「Stage Up」は、市民の声を生かす生涯学習情報誌です。ご投稿、ご意見を歓迎します。

編集後記

今号は7、8月合併の夏季号です。次号の発行日は9月1日になりますので、お間違いないようお願いいたします▼ところで、6月号の「ミニニュース」の「Stage Up」テレカの文中に

「デザインはバラの花の……」とあるのは「デザインはツバキで……」の誤りでした。おわびし訂正します。

▼先日、洗足学園大音楽部教授の大里洋子さんが、世界的プリマドンナのエレナ・オブラストワさんと一緒に「Stage Up」編集チームにお出でになりました▼残念なことですが、わが国のオペラファンは多くありません▼別室で応対した田中も、普段から「芸術音痴」を自認

していますが、懇談した後「お二人の芸術に対する情熱に感激した」▼それを聞いた職員は「……」と無視▼これに焦り「大里さんが「Stage Up」について「とても文化水準の高い冊子で川崎のイメージアップにも役立つ」と思っています」と評価してくれて……▼しかし、

職員への反応はイマイチ。誰かが同席していたら」と梅やんでも後の祭り

▼オブラストワさんのコンサートは7月3日です。詳細は小誌8頁をご覧ください。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒216 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
 電話(044)951-5000 FAX(044)951-1350

編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の三 教育文化会館一階
 電話(044)133-1650